

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施 策	③質の高いクルーズ観光の推進
			施策の小項目名	○観光交流拠点としての寄港促進
主な取組	クルーズ船寄港地の形成（中城湾港）		対応する成果指標	ラグジュアリー/プレミアムクラス及びフライ・アンド・クルーズ船の寄港回数
施策の方向	・クルーズ寄港地の分散化と県内での周遊を促進することにより、より広い範囲・分野に経済効果を波及させるため、県内周遊クルーズや着地型観光を図るとともに、受入施設、二次交通及び周辺環境の整備を進め、観光交流拠点としての寄港促進に向けて取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
中城湾港新港地区において、大型クルーズ船の寄港要請があり、また、クルーズ船の寄港もあることから、大型クルーズ船の寄港に向けた持続可能な受入体制の構築を図る。	国,県,市町村,関係団体	短期的なクルーズ客の利便性・安全性確保		
		西ふ頭貨客兼用バスにおける短期的なクルーズ客の利便性・安全性確保に資する施設の整備		
		事業手法の検討	調査・設計	整備
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課		【 098-866-2395 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	中城湾港機能施設整備費			
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	
県単等	—	7,000	0	

令和7年度活動内容

クルーズ船の岸壁予約制限等を改善するため、大型船を西ふ頭から、東ふ頭にシフトさせることを目的として、東ふ頭の岸壁背後地の実施設計を実施した。

(単位：千円)

予算事業名	中城湾港機能施設整備費		
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	委託	108,379	

令和8年度活動計画

西ふ頭から、大型船をシフトさせるため、東ふ頭の岸壁背後整備背後地の整備事業を推進する。

活動指標名	西ふ頭貨客兼用バースにおける短期的なクルーズ客の利便性・安全性確保に資する施設の整備		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	—	事業手法の検討	事業手法の検討	80.0%	概ね順調	
クルーズ船の岸壁予約制限等を改善するため、大型船を西ふ頭から東ふ頭にシフトさせることを目的として、国直轄事業と連携して、東ふ頭との岸壁背後地の実施設計を実施した。							

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
西ふ頭において、クルーズ岸壁の予約制限や貨物との錯綜が生じており、西ふ頭から東ふ頭に大型船をシフトさせ、大型船の寄港の分散を図る必要がある。東ふ頭の岸壁整備に向け実施設計に着手しており、年度内に完了はできなかったが、業務に着手し作業を進めていることから概ね順調と判断した。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
○国際クルーズ船をスムーズでストレスなく受け入れるためには、中部圏域の受入体制構築を図る必要があるため、地元関係機関との連携強化を図る。	中城湾港において、受入体制の強化を図るため、西ふ頭の需要を東ふ頭に分散し、クルーズ船の岸壁世予約制限を改善する必要がある。 東ふ頭西ふ頭の大型船をシフトさせるため、岸壁整備の事業化を国等関係機関と連携して実施設計に取り組んだ。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	国際クルーズ船の再開後、中城湾港のクルーズ船の寄港回復は遅れているが、クルーズ岸壁の予約制限や貨物との錯綜が生じていることから東ふ頭の岸壁を早期に整備する必要がある。	② 連携の強化・改善	国直轄事業と連携しながら、東ふ頭の岸壁について早期の整備を目指す。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施 策	③質の高いクルーズ観光の推進
			施策の小項目名	○観光交流拠点としての寄港促進
主な取組	石垣港の整備		対応する成果指標	ラグジュアリー/プレミアムクラス及びフライ・アンド・クルーズ船の寄港回数
施策の方向	・クルーズ寄港地の分散化と県内での周遊を促進することにより、より広い範囲・分野に経済効果を波及させるため、県内周遊クルーズや着地型観光を図るとともに、受入施設、二次交通及び周辺環境の整備を進め、観光交流拠点としての寄港促進に向けて取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
石垣港新港地区において旅客船ターミナル整備事業を推進する。	国,石垣市	大型クルーズ船に対応する新港地区旅客船ターミナル整備事業の促進		
		旅客船ターミナル整備等		
		岸壁・水域施設等の整備	岸壁・水域施設等の整備	岸壁・水域施設等の整備
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課		【 098-866-2395 】	関連URL
				—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

石垣港港湾改修事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

国直轄

その他

—

—

令和7年度活動内容

国直轄において旅客船ターミナル（埋立、防波堤、橋梁改修）の整備を行った。

予算事業名

旅客船ターミナル整備事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

国直轄

その他

—

令和8年度活動計画

国直轄において旅客船ターミナル（埋立、防波堤。橋梁改修）の整備を行う。

活動指標名

旅客船ターミナル整備等

R5年度

R6年度

実績値

—

—

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

岸壁・水域施設等の整備

岸壁・水域施設等の整備

0.0%

進捗状況

順調

活動概要

国直轄において旅客船ターミナル（埋立、防波堤。橋梁改修）の整備を行う。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

国直轄において、旅客船ターミナル（埋立、防波堤、橋梁改修）の整備を行っているため計画的に進捗がなされている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

早期整備を図るため港湾管理者である石垣市等により、国に対し早期整備等の要望を行うなど事業の促進を図る。

反映状況

石垣市により国に対し、早期整備等の要望を行うなど事業の促進を図った。

- 5 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	国に対し、早期整備等の要望を行うなど事業の促進を図る。	⑧ その他	早期整備を図るため港湾管理者である石垣市により、国に対し早期整備等の要望を行い、事業の推進を図る。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	施 策	③質の高いクルーズ観光の推進
			施策の小項目名	○多様な国際クルーズネットワークの拡充等
主な取組	クルーズ船社へのポートセールの実施		対応する成果指標	ラグジュアリー/プレミアムクラス及びフライ・アンド・クルーズ船の寄港回数
施策の方向	・フライ・アンド・クルーズ等の新たな旅行形態についても、良質な観光・ツーリズムの振興を要件に、沖縄観光の付加価値を創出する方策として展開を図り、その誘致を含めた多様な国際クルーズネットワークの拡充等に取り組みます。クルーズ船寄港による経済的利益の創出と地域への還元のあり方について検討を図ります。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
フライ・アンド・クルーズ等の多様なクルーズ船誘致にあたり、クルーズ関連イベントや展示会等においてクルーズ船社を訪問することにより、ポートセールスを実施する。	那覇港管理組合	ラグジュアリー/プレミアムクラスを含む多様なクルーズ船をターゲットにしたポートセールスの実施		
		ポートセールスの実施回数(累計)		
		3回	3回(6回)	3回(9回)
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課		【 098-866-2395 】	関連URL
				—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

クルーズ関連推進事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

市町村

直接実施

2,758

5,002

令和7年度活動内容

クルーズ関連イベントや展示会等において、クルーズ船社を訪問することにより、計5回のポートセールスを実施した。

予算事業名

クルーズ関連推進事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

市町村

直接実施

7,030

令和8年度活動計画

クルーズ関連イベントや展示会等において、クルーズ船社を訪問することにより計3回以上のポートセールスを実施する。

活動指標名

ポートセールスの実施回数（累計）

R5年度

R6年度

実績値

—

—

R7年度

実績値(A)

目標値(B)

達成割合
A/B

5回

3回

100.0%

進捗状況

順調

活動概要

クルーズ関連イベントや展示会等において、クルーズ船社を訪問することにより、目標値を超える計5回のポートセールスを実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

達成割合が100%であることから、「順調」とした。また、令和7年の那覇港へのクルーズ船寄港数は実績205回、令和8年の寄港予約数も200回を超えており、ポートセールスによりクルーズ船寄港継続などクルーズ船社との関係構築に資するものとなった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

国内における国際クルーズ船運航は増加基調であり、クルーズ船社へのポートセールスを継続的に実施する。また、ポートセールス実施にあたっては、フライ・アンド・クルーズ等の多様なクルーズ船誘致により、質の高いクルーズ観光の推進に取り組む。

反映状況

クルーズ関連イベントや展示会等において、クルーズ船社を訪問することにより、目標を超える計5回のポートセールスを実施し、クルーズ船寄港継続などクルーズ船社との関係構築に資するものとなった。また、質の高いクルーズ観光の推進に向けては、令和7年にフライ・アンド・クルーズを計26回受入れる等、関係機関と連携した取り組みを進めている。

- 8 -

様式 1（主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	令和5年に国内における国際クルーズ船運航が再開して以降、全国的にクルーズ船寄港数が増加基調となっている。	⑥ 変化に対応した取組の改善	国内におけるクルーズ船寄港数が増加基調であり、那覇港への寄港継続拡大に向け、船社へのポートセールスを継続的に実施し、旅客受入時の課題把握等により利便性向上に資する取組を推進する。
⑦ その他内部要因(改善余地の検証等)	質の高いクルーズ観光推進に向けては、那覇港を発着するフライ・アンド・クルーズやラグジュアリー／プレミアムクラスを含む多様なクルーズにより、より広範囲・分野への経済効果波及が求められる。	② 連携の強化・改善	フライアンドクルーズ等多様な誘致にあたり、付加価値の高い県内周遊型クルーズ等の取組を促進するため、イベントや展示会出展等におけるポートセールスでは、県内外他港との連携を強化する。